

# 第121回日本眼科学会総会

## ランチオンセミナー24

- 日時：2017年4月8日(土) 12:30～13:30
- 会場：第4会場 (東京国際フォーラム ホールB5 (1))  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5-1

## RVO最新アップデート ～病態から考える視力予後～



◆座長1◆

**白神 史雄** 先生 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 眼科学教室 教授



◆座長2◆

**近藤 峰生** 先生 三重大学大学院医学系研究科 臨床医学系講座眼科学 教授



◆演者1◆

**最近のイメージングでわかってきたBRVOの病態**

**村岡 勇貴** 先生 京都大学大学院医学研究科 眼科学 助教



◆演者2◆

**網膜静脈分枝閉塞症において抗VEGF治療が  
網膜微小循環におよぼす影響**

**吉田 宗徳** 先生 名古屋市立大学大学院医学研究科 視覚科学 病院教授

本セミナーは整理券制でございます。

セミナー当日、7:30～11:30まで、東京国際フォーラム ガラス棟 B1F ロビーギャラリーにて、整理券を配布いたします。  
整理券は無くなり次第終了、セミナー開始5分で無効となりますので、ご注意ください。

共催



Bayer バイエル薬品株式会社



参天製薬株式会社

※本セミナーのご参加にあたり、弊社による旅費の負担はできませんことをご了承ください。

# RVO最新アップデート ～病態から考える視力予後～

近年、網膜静脈閉塞症(retinal vein occlusion: RVO)に伴う黄斑浮腫に対しては、抗血管内皮増殖因子療法(抗VEGF薬)の硝子体内投与の登場により、新たなエビデンスも加えられ、治療に関する考え方が大きく変わってきました。

抗VEGF薬は早期に浮腫が消退するものの、再発を繰り返すことも多く、繰り返し再投与が必要になる場合もあります。また、黄斑浮腫が消退した後も、視力予後に関しては、ばらつきが多いのが現状です。

本セミナーでは、臨床の最前線におられる2名の先生をお迎えし、RVOにおける視力予後に影響する因子や、病態に関する最新情報をお伝えします。

本セミナーが明日からの診療にお役立ていただけるものと考えています。多くの先生方のご参加を心よりお待ちしております。

## ◆座長1◆

**白神 史雄 先生** 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科  
眼科学教室 教授

### ■ご略歴

1980年 岡山大学医学部 卒業  
1984年 岡山大学医学部大学院 修了  
1991年 岡山大学医学部眼科 講師  
1997年 岡山大学医学部眼科 助教授  
1998年 エモリー大学 (文部省長期在外研究員)  
2002年 香川医科大学眼科 教授  
2003年 香川大学医学部眼科 教授  
2013年 岡山大学医学部眼科 教授

## ◆座長2◆

**近藤 峰生 先生** 三重大学大学院医学系研究科  
臨床医学系講座眼科学 教授

### ■ご略歴

1991年 金沢大学医学部卒業  
1997年 名古屋大学大学院修了  
1999-2001年 ミシガン大学眼科 留学  
2006年 名古屋大学大学院医学系研究科感覚器障害制御学 准教授  
2011年 三重大学大学院医学系研究科臨床医学系講座眼科学 教授

## ◆演者1◆

### 最近のイメージングでわかってきた BRVOの病態

**村岡 勇貴 先生** 京都大学大学院医学研究科  
眼科学 助教

### ■ご略歴

2004年 群馬大学医学部 卒業  
2004年 京都大学医学部附属病院 研修医  
2006年 財団法人倉敷中央病院 眼科  
2008年 静岡県立総合病院 眼科  
2010年 京都大学大学院医学研究科 博士課程  
2014年 京都大学眼科 助教

## ◆演者2◆

### 網膜静脈分枝閉塞症において 抗VEGF治療が網膜微小循環に およぼす影響

**吉田 宗徳 先生** 名古屋市立大学大学院医学研究科  
視覚科学 病院教授

### ■ご略歴

1988年 京都大学医学部卒業  
1995年 京都大学医学部 眼科 助手  
1996年 米国ハーバード大学スケベンス眼研究所  
1998年 神戸市立中央市民病院 眼科 副医長  
2001年 名古屋市立大学医学部 眼科 講師  
2003年 名古屋市立大学医学部 眼科 助教授 (2007-准教授)  
2012年 名古屋市立大学大学院医学研究科 視覚科学 病院教授